

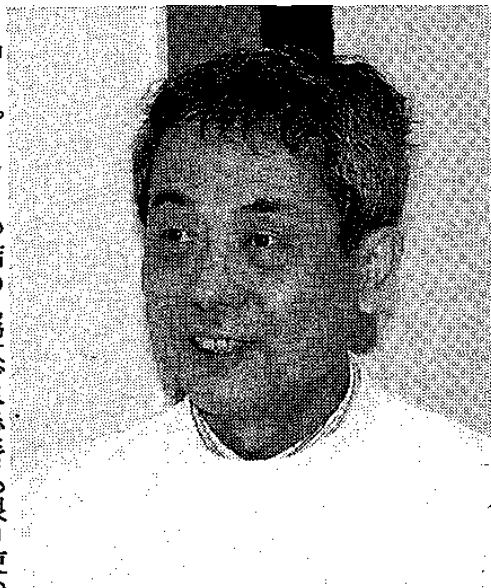
この人

頭痛、腰痛、肩こりなど原因のハッキリしない不定愁訴といわれる症状。実はかみ合わせの不具合や歯科金属アレルギーが原因だともいわれ、歯は体全体の健康をつかさどる重要な要素として、その重要性が見直されて

いる。越久村歯科医院の院長、越久村真一さんはかみ合わせと歯科金属が身体に及ぼす影響を長年に渡って研究し、治療にも取り入れてきた。現在では地元の京都はもちろん、滋賀や大阪などの遠方からも越久村さんの治療を頼って患者が訪れるという。

（漆崎 真人）

越久村歯科医院 院長 越久村真一さん



プロフィール
（おくむら・しんいち）
1953年生まれ。大阪府立北野高校卒業後、東京医科歯科大学歯学部卒業。出光興産千葉製油所歯科診療室勤務。1982年越久村歯科医院開業。CMA歯科臨床研究会など多数の会に所属。

「インプラントや詰め、属などをできる限り使わ

物で歯に使われるものがない歯科治療ができない

は、金属・セラミックな かも考えています」

とさまざまな種類の異物 そろそろ越久村さんは

があります。人の体は敏感 金属を用いるインプラン

感で、それら体に トは一切行わず、

とつての異物を潜 ミミクルデンチャ

在的に評価し、合 ーという義歯を用

う合わないを判断 いた治療を患者に

する。これを生体 提供している。

親和性といえます 「骨に穴をあけ

が、できるだけ体 るインプラントよ

が嫌がらないもの りも負担が少なく

を身につけること 安価。入れ歯特有

全身の健康を 考えた治療を実践

「骨に穴をあけるインプラントよりも負担が少なく安価。入れ歯特有の異物感がなく、入れ歯部分でしっかり噛むことができ、食事を楽しむ。自分の歯と錯覚するほどのフィット感を感じることがができます。インプラントにする必要はないくらい優れた入れ歯です」

「今後も患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

京都市右京区西院小
町36（京福西院、阪急西
院駅から徒歩10分）
075・321・4
768
http://www.okumura-dental.com/

金属の親和性を見極める

ないくらい優れた入れ歯

越久村さんはまた、か